

秦野市国際交流協会

秦野市国際交流協会について

創 立 1985年4月

目 的 秦野市に住む外国籍市民と秦野市民との交流を通じ、国際親善と国際理解を図り、もって世界平和に寄与すること。

会員数 約40名

秦野市の現状

人口	159,444人(令和5年8月31日現在)
外国籍市民人口	4,328人(2.7%)

【内訳上位国】

- 1 中国
 - 2 ベトナム
 - 3 ブラジル
- 

国際交流協会の主な事業

- 中学生英語スピーチコンテスト
 - 秦野市市民の日
 - 国際理解講座（料理教室）
 - 国際交流フェスティバル
- 

中学生英語スピーチコンテスト

毎年9月に開催

目的:次代を担う青少年の国際感覚や平和意識を育むこと。

内容:公募した中学生が英語でスピーチ。テーマは自由。

副賞:上位入賞者は、英語体験研修に参加。2023年度は韓国・坡州市へ訪問予定



コンテストの様子



副賞の英語体験研修の様子

(2022年度は、1泊2日でキッザニア東京の英語プログラム等に参加)

キッザニア東京



JICA地球ひろば



すべて英語で行う特別プログラムに参加しました。遠くへ飛ぶ紙飛行機を製作や、ハンバーガー作りに挑戦し、その後自分で作ったものを試食しました。

JICA海外協力隊の体験談を聞き、体験ゾーンを見学しました。

秦野市市民の日

「秦野市市民の日」に出店し、協会の活動をPR。

2022年度は、バザーを実施。

売り上げは、協会事業の活動費のほか、2022年度はウクライナへ寄附。



国際理解講座(外国籍市民向け料理教室)



「JAはだの女性部」の皆さんを招き、日本のおせち料理(雑煮、伊達巻き、なます)の作り方を教わりました。

国際理解講座（外国料理教室）



「在日本大韓民国民団神奈川県湘西支部 姜 旻廷 様」を招き、韓国料理(ビビン冷麺風素麺、野菜チヂミ、千切り野菜焼き、きゅうりのヨーグルト和え)の作り方を教わりました。

国際交流フェスティバル

目的： イベントを通じて、外国籍市民との交流の場を提供し、考え方やニーズなど、お互いに深めること。

内容： 日本語スピーチ大会、交流会、各団体による紹介ブース


2023 国際交流フェスティバル
International Exchange Festival
とき： 3月4日(土)AM10:00～ ところ： 文化会館大ホール7Fエ

プログラム

10:00 開会式
10:15 日本語スピーチ大会
11:00 サタデーフェスティバル1部

- ・コーラスグループ「コールソネット」(合唱)
- ・楽野観光和太鼓 (演奏と体験コーナー)

12:00 交流会

- ・立食パーティー
- ・国の紹介ブース
- ・ジャグリング発表
- ・バイオリンによるラオス曲発表
- ・体験コーナー(書付け)

12:55 「日本語スピーチ大会」表彰式
じゃんけん大会


主催： 楽野市国際交流協会
楽野市
協力： みんなの文化会館はだのパートナーズ



日本語スピーチ大会

母国の魅力や日本に来て生活や文化の違いで気付いたこと、困ったことなど
様々な思いを日本語でスピーチしました。(2022年度は9か国12名が出場)



一生懸命、スピーチを行う参加者



入賞者には賞状と、協賛企業等から提供された商品を贈呈

各国の紹介ブース

外国籍市民出身国の紹介ブース、着付け体験コーナーや着付け体験コーナーなど毎年多くの団体にご参加いただいています。



韓国ブース



スペインブース



着付け体験コーナー

交流会

各種料理、世界各国のお菓子を食べながら交流を深めました。

各国の曲の演奏や、東海大学生による発表等もあり、大いに盛り上がりました。



交流会の様子



振る舞われた各国
の料理・お菓子



最後は恒例のじゃんけん大会

国際交流協会の課題

- 1 会員数の増加への取り組み
- 2 外国籍市民との交流
- 3 新たな事業の創造

ご清聴ありがとうございました。
